



災害等により家屋等が損壊した場合、アスベスト含有建材が使用されているとアスベストが飛散している可能性があります。災害ボランティアの皆さまが家屋等の片付けをするときは、アスベストのばく露防止対策を行うようにお願いします。

アスベストは、ばく露から10～40年程経過して肺がんや中皮腫等の病気を発症する場合があります。

注意が必要な状況・作業

1

・ 損壊した建物の屋内やその周辺で作業を行う場合

2

・ がれき等の移動や撤去を行う場合

3

・ 解体等工事の粉じんが気になる場所での長時間の作業

ばく露防止のための対策方法

1

・ 防じんマスクを着用する（下欄防じんマスクの種類参照）

2

・ スレート等のアスベストを含有する可能性がある建材を破断・切断する作業はしない

3

・ やむを得ず破断・切断する場合は散水し湿潤して粉じんを押さえる

4

・ むやみに作業現場や解体現場に近づかない

作業別の防じんマスクの種類

アスベスト建材の破砕等による除去作業

- ・ 規格、DS3・RS3以上
- ・ 粒子捕集効率99.9%以上

アスベスト建材を湿潤化し手ばらし作業

- ・ 規格、DS2・RS2以上
- ・ 粒子捕集効率95%以上

アスベスト建材に関わらない一般的な作業

- ・ 規格、DS2・RS2以上
- ・ 粒子捕集効率95%以上

災害ボランティアセンターについて

市内で災害が発生したときは、あきる野市社会福祉協議会内に「災害ボランティアセンター」が設置されます。ボランティアに参加いただける方は下記へ問合せください。

お問合せ

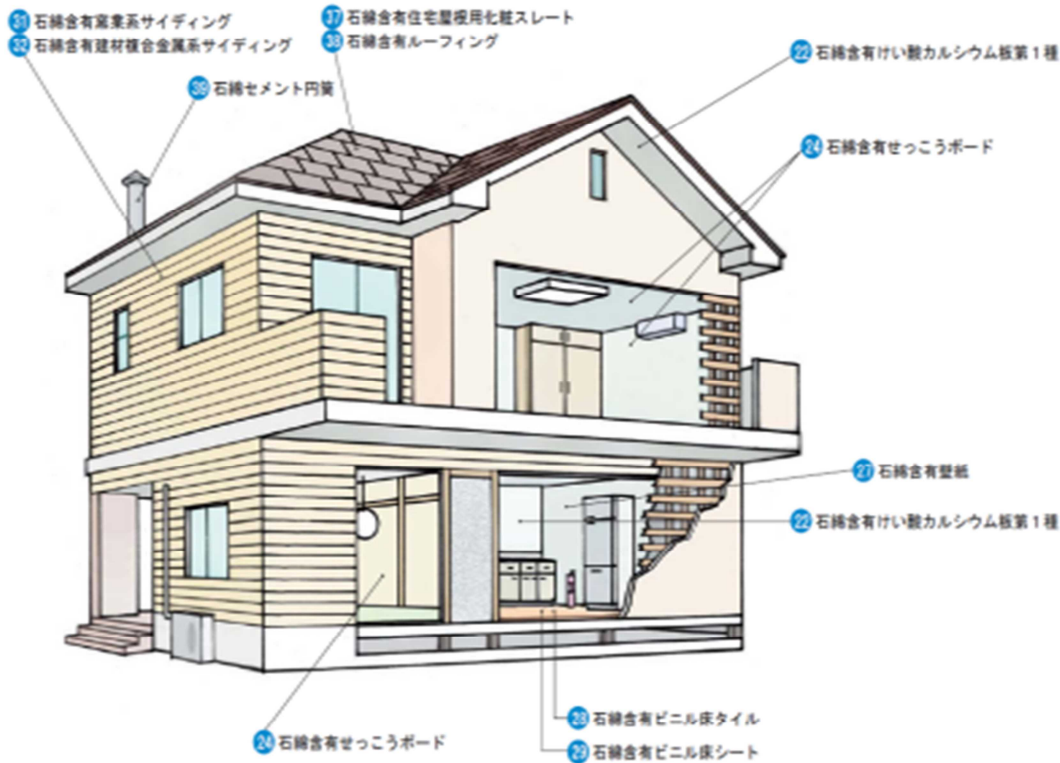
あきる野市社会福祉協議会：あきる野市平沢 175 番地 4 TEL042-595-9033



社協災害HP



## 【アスベスト含有建材の使用例】



QRコードで  
アクセス



出展「目で見えるアスベスト建材（第2班）」国土交通省  
QRコードから国土交通省ホームページ「目で見えるアスベスト建材」の冊子  
がご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/01/010331\\_7/01.pdf](https://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/01/010331_7/01.pdf)

粉じんのばく露を防ぐために

## 正しく防じんマスクを装着しましょう

適切な性能を有する防じんマスクを使いましょう

間違った防じんマスクのつけ方に注意しましょう

以下のいずれか一つ以上の合格・認定を受けた防じんマスクを使いましょう。

- 厚生労働大臣の型式検定  
例: DS2マスク 等
- NIOSH規格  
例: N95マスク 等
- 欧州規格 (EN149)  
例: FFP2マスク 等



しめひもが片側はずれている    マスクが上下逆さま    しめひもが首元で2本がけになっている    しめひもを加工して耳かけ式にしている

### 防じんマスクをつけた時の注意点について

しっかりと顔に密着させましょう

- マスクの変形・破損が無いことを確認した上で取扱説明書に従って装着を行う。
- しめひも調節が行えるものは、必ず適切な長さに調節する

顔に密着しているか確認しましょう

- 取扱説明書に従って使用のたびに必ず顔に密着しているか確認しましょう。
- もし、漏れ込みが感じられた場合は
  - ①マスクの位置を調節する
  - ②しめひもの長さを調節する 等
 を行って再度確認してください

※注意事項

- ・防じんマスクの規格は性能に応じた種類がありますので作業内容に応じた防じんマスクを選択して下さい。
- ・除菌温度18%未満の作業環境では絶対に使用しないで下さい。
- ・使用中にマスクが損傷したり、呼吸が苦しくなったり等の場合には速やかに安全な場所に移動してください

資料出典: (社)日本保安用品協会  
日本呼吸用保護具工業会  
スリーエムヘルシケア(株)

QRコードで  
アクセス



出展「正しく防じんマスクを着用しましょう」環境省

QRコードから環境省ホームページにて詳しい装着方法が分かります。

<https://www.env.go.jp/content/900481318.pdf>